

**月例会ダイジェスト 【98】**

2月の月例会は産業保健師のキャリアにテーマを定め「独立産業保健師への道！～産業保健へのはじめの一歩から開業まで～」と題してハイブリッドで開催。コーディネーターは金森悟氏（帝京大学大学院）、原田若奈氏（川崎市立看護大学）、安倉沙織氏（ライフコンサルティングスタジオ）、福田洋氏（順天堂大学）が担当した。

株式会社を設立して、主に中小企業の産業保健活動支援事業等を展開している齋藤明子氏（㈱ヘルス&ライフサポート）が最初に登壇した。

齋藤氏は、さまざまなキャリアを経て個人事業主から法人化に至った自身の経歴を紹介したあと、税務署に届け出れば開業できる個人事業主と、経営理念や事業計画等が求められる法人との違いも説明。また「起業3年後で廃業する割合は5割強」という全般的な起業にまつわる実態にも触れ「開業はやりがいも多いが、リスクもある」と注意を促した。最後に「産業保健の対象は時代とともに変化する。クライアントのニーズに応え、さらに先取りしていくためにも常に社会の情勢にアンテナを張り、学び続けていかなくてははいけない」と、これからの産業保健を担う保健師たちにアドバイスを送り、発表を終えた。

続いて独立産業保健師として、中小企業の産業保健活動を支援しながら、個人を対象にしたカウンセリングや、ボイストレーニングスタジオのマネージャーなど幅広く活動している安倉氏が登壇した。

大手企業で勤務したあと「産業保健の手が届かない中小企業や、個人を支援したい」という思いから独立を決意したという安倉氏は「独立してよかったこと」として、自分のやりたい仕事の実現できている点や、仕事を通じたネットワークづくりなどを挙げた。一方「大変なこと」では、財務面で不安があることや、税務処理などの各種手続きも自分で対応しなくてははいけないこと、また自身の体調管理には人一倍気をつけなくてはならないことなどを述べた。そして「独立して9カ月ほど経過したが、独立してよかったと思っている」と現在の所感を述べた。

後半は組織に所属する2人の産業保健師が発表を行った。志村麻衣子氏（医療法人社団同友会）は、看護師として臨床からキャリアをスタートさせ、現職の労働衛生機関で特定保健指導や、健診事後の保健指導等に従事す

るようになるまでの経歴を紹介した。特定保健指導の制度が始まるタイミングで入社した志村氏は、特定保健指導の企画づくりにも携わったことや、具体的な業務内容についてフェーズごとに説明した。さらに自己学習のほか、学会への参加や資格取得などのスキルアップを続けてきたことにも触れ「企業が用意する教育制度だけでなく、自ら動いて学んでいく姿勢が大切だと感じている」と話した。

藤野慈乃氏（㈱パソナ）は、自社の健康経営の取組みと、未経験から就労につなげるための産業保健師の育成方針について発表した。

「業務としては未経験でも、フレッシュな視点やアイデアをアウトプットに生かすことができる」という藤野氏は、自社の健康経営の一環として取り組んだ女性向けの健康プログラムで、未経験の保健師に企画から参加してもらった事例を示した。またPCスキルやビジネスマナーなど、職場のニーズに応じてスキルアップの支援をしていることや、産業保健の現場で求められる心構えや基礎知識、スキル等が学習できる少人数制の育成プログラム「産業保健人財養成塾」についても説明した。最後に「当社は、未経験でも意欲のある保健師を就労につなげていくため、多方面から支援している。形にこだわらずに、まずはトライしていただきたい」と訴えた。

休憩後のトークセッションでは、独立する際に役立つと思われる資格やスキルについての質問が挙がった。パネリストからは「昨今はキャリアについての悩みや相談が出てくるケースが増えたので、キャリアコンサルタントなどビジネスの領域で支援できる資格があるといひかもしれない」（齋藤氏）「ビジネスの最前線で働く人たちのマインドを学んでおくと、どういうアプローチをすればいいのかが見えてくる。異業種の資格を取っても有効だと思う」（藤野氏）という回答があった。また「産業保健師としてやってはいけないことは何か」という問いかけに対し、全員が「提案をしてもいいが、こちらの主張をいきなり押しつけないこと。最初に企業が抱える課題や要望をしっかりと把握し、状況を見ながら段階を踏んで解決を目指していくことが重要」と答えた。

会場には未経験から産業保健師に挑戦する看護職や、学生の姿も見られた。「先輩たちの話は、大変参考になった」と感想や意欲を述べた彼女たちの言葉から「産業保健師になる」という強い意志がうかがえた。

さんぽ会の詳細は下記サイトをご覧ください。

- ホームページ <http://sanpokai.umin.jp>
- FBページ <http://www.facebook.com/sanpokai>